SE のためのデジタルシステム入門（アジャイル編）

［概要］　企業を取り巻く環境の変化が激しいため、デジタルシステムも変化に迅速に対応することが求められています。これを実現するのがアジャイル開発です。このコースではアジャイル開発の基礎知識を身に着け、アジャイル開発の各手法・アジャイル開発に対応した運用である DevOps の概要を理解することができます。

［学習目標］
・アジャイル開発の基礎知識を習得する
・アジャイル開発の各手法の概要を理解する
・アジャイル開発に対応する運用 DevOps の概要を理解する

［受講対象者］
・これからアジャイル開発を実施する方
・アジャイル開発の概要を理解したい方

［前提条件］　特になし

［日数］　半日間（3 時間）

［形式］　講義＋演習（講義中心、90：10）

［研修に必要なもの］

講師用　：（オンラインの場合）オンライン研修環境
（オフラインの場合）プロジェクター、ホワイトボード

受講者用：（オンラインの場合）オンライン研修環境、Word の使える PC

［タイムスケジュール］

日程	内容
	１．アジャイル開発とは ・アジャイル開発の定義 ・アジャイル開発の必要性 ・アジャイル開発の特徴 ２．アジャイルソフトウェア開発宣言・原則 ・アジャイルソフトウェア開発宣言 ・アジャイルソフトウェア開発の原則 ３．アジャイル・プロジェクト・マネジメント ・概要 SBOK、スクラム・コア・チーム、各ステップの概要、 必要なドキュメント ・６つのプリンシプル 経験を積み重ねるプロセス管理、自己組織化、協業、価値による優先順位付け、タイムボックス、反復開発 ・５つの観点 組織、ビジネス正当性、品質、変更、リスク ・５つのフェーズと 19 のプロセス 立ち上げ、計画と見積、実行、レビューと振り返り、リリース ４．アジャイル開発の各手法 ・手法の変遷 ・XP ・FDD ・リーンソフトウェア開発 ・DSDM ・SAFe® ５．アジャイル開発に対応する運用 DevOps ・アジャイル開発の運用上の課題 ・解決策としての DevOps ・DevOps のプロセス 継続的ビジネスプランニング コラボレーティブ開発：常時結合（継続的インテグレーション）、継続的テスト 継続的デリバリー、継続的モニタリングとフィードバック ・DevOps に関連する技術 マイクロサービスアーキテクチャ、Infrastructure as code ・DevOps を実現するための文化 共通の目的意識を持つ、共感する、自律的思考 （確認クイズ）